

製品名: CstF-64 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09474**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CSTF2
別名	CSTF2; Cleavage stimulation factor subunit 2; CF-1 64 kDa subunit; Cleavage stimulation factor 64 kDa subunit; CSTF 64 kDa subunit; CstF-64
遺伝子 ID	1478.0
SwissProt ID	P33240
免疫原	抗血清はヒト CSTF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

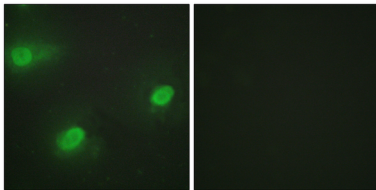
背景

この遺伝子は、RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを持つ核タンパク質をコードしています。このタンパク質は、pre-mRNA の

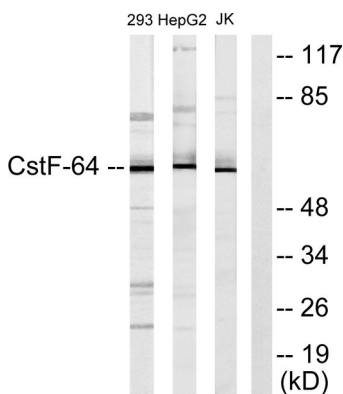
3'末端切断およびポリアデニル化に関する切断刺激因子 (CSTF) 複合体のメンバーです。具体的には、このタンパク質は mRNA の 3'非翻訳領域内の GU リッチエレメントに結合します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 哺乳類 pre-mRNA のポリアデニル化および 3'末端切断に必要な複数の因子の 1 つ。このサブユニットは pre-mRNA への結合に直接関与する。誘導: G0 期から S 期への移行中にアップレギュレーションされる。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性: 1 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。サブユニット: CSTF 複合体は、CSTF1 (50 kDa サブユニット)、CSTF2 (64 kDa サブユニット)、および CSTF3 (77 kDa サブユニット) から構成される。CSTF2 は CSTF3、SYMPK、および RPO2TC1 と直接相互作用する。熱ストレスを受けた細胞では HSF1 と相互作用する。FIP1L1 と相互作用する。

研究分野

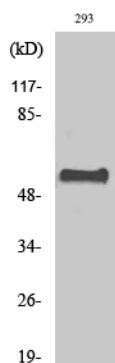
画像データ



CSTF2 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CSTF2 抗体を用いた 293 細胞、K562 細胞、および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した CstF-64 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。